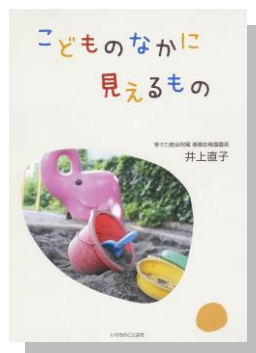


こどものなかに見えるもの/井上直子(善隣幼稚園園長)より

子育てワンポイント・励ましのことは4

**子どもには子どもの気持ちや
感じ方があるようです。
それは、おとなが考えているより
柔軟で繊細なものです。**



「ママには、こどものきもちがわからないんだ!」

うちの子が、年長のときに言ったことばです。

ショック! こどもが生れてからずっと、わりとゆとりをもって、この子の成長を楽しみ、一緒に歩いてきたつもりだったのに。子どものことは一番わかっていたつもりだったのに。こんなんで幼稚園やっていていいの?

食事、服、おもちゃ、友だち…母親は良かれと思ってわが子に自分で選んだものをあてがいます。あたかもそれが世界で一番正しくて良いものであるかのように。でも、あんまり力を入れすぎると、横から父親に「それは、きみの趣味だろ」と静かな一撃!

そうです。それは、わたしが身に着けている価値観、好み、そして大人としての「趣味」なのです。でも、わたしとは違う人格をもった子どもは、今まさに、価値観、好み、趣味を自分自身のものとして身に着けようとしています。それは失敗しながらも自分の体と心で経験しながら学び、身に着けていくその子だけのもの。子どもには子どもの気持ちや感じ方があるようです。それは、おとなが考えているより、柔軟で繊細なものです。

母親は、良かれと思ってわが子に自分で選んだものをあてがいます。それでいいのです。でも、それが自分自身の「趣味」であることを忘れないようにしたいと思います。もし、わが子が自分の思いに反した行動をした時には、「あれ? まてよ。どういうことかな?」と立ち止まることができれば、その裏にあるこどもの気持ちを少し知ることができるかもしれません。